

**製品名: A20 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06364**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	89kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TNFAIP3 TNFAIP3; OTUD7C; Tumor necrosis factor alpha-induced protein 3; TNF alpha-induced
別名	protein 3; OTU domain-containing protein 7C; Putative DNA-binding protein A20; Zinc finger protein A20
遺伝子 ID	7128.0
SwissProt ID	P21580
免疫原	抗血清はヒト TNAP3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 321-370

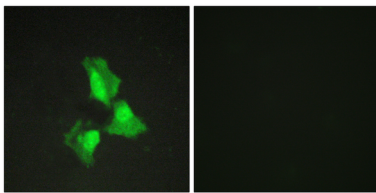
**背景**

この遺伝子は、腫瘍壊死因子 (TNF) によって急速に発現が誘導される遺伝子として同定されました。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ジンクフィンガータンパク質およびユビキチン編集酵素であり、NF-κB の活性化および TNF を介したアポトーシスを阻害することが示されています。コードされるタンパク質は、ユビキチンリガーゼおよび脱ユビキチン化酵素の両方の活性を持ち、サイトカインを介した免疫応答および炎症応答に関与しています。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする複数の転写バリエーションがみつかっています。[RefSeq 提供、2012年7月]、機能: NAF1 と相互作用し、RIP または TRAF2 を介した転写活性化シグナルを阻害することで、TNF 誘導性 NF-κB 依存性遺伝子発現を阻害します。プログラム細胞死の阻害剤です。リンパ系の機能に役割を果たしており、TNF の *in vivo* 効果に寄与している可能性があります (類似性による)。'Lys-48' または 'Lys-63' 結合ポリユビキチン鎖に対する脱ユビキチン化活性を有する。誘導: TNF-α による。類似性: ペプチダーゼ C64 ファミリーに属する。類似性: 1 つの OTU ドメインを含む。類似性: 7 つの A20 型ジンクフィンガーを含む。サブユニット: ホモ二量体。NAF1、TAX1BP1、および TRAF2 と相互作用する。、

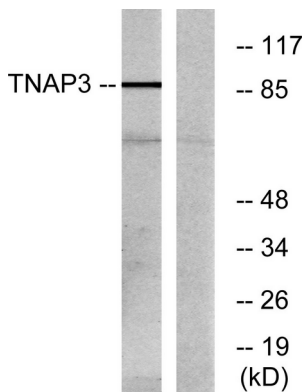
## 研究分野

NOD 様受容体;

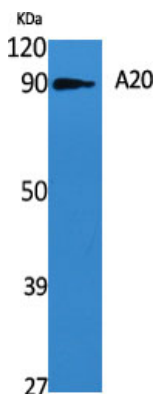
## 画像データ



TNAP3 抗体を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



TNAP3 抗体を用いた RAW264.7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



A20 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析

A20 ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット解析

